

**稲敷地方広域市町村圏事務組合
視察研修報告**

視察日

平成25年10月3日～4日

視察先

・北海道北斗市

南渡島消防事務組合消
防本部

参加者

山崎幸子 飯田洋司

視察内容

南渡島消防事務組合消防本部は、北海道の南部、渡島半島に位置する北斗市（平成18年2月に旧上磯町と旧大野町が合併）、七飯町、鹿部町の3市町を管轄している消防本部です。管内に北斗消防署、七飯消防署、鹿部消防署を配置し、多様な災害に備えています。南渡島消防事務組合消防本部の管内人口は、約8万2000人で、稲敷地方広域市町村圏事務組合に比べ約3分の1、職員数も約2

分の1です。しかし、管轄する面積は、約1・7倍に当たる724・52平方キロメートルと広範囲にわたります。



南渡島消防事務組合消防本部にて

この広大なエリアを、少ない職員で管轄する組合の課題は、早急に通信指令業務の一元化を図ることです。情報の集約・共用をして、

初動体制及び災害対応力の強化が必要となります。

そこで、ようやく来年度に通信網の整備を終え、デジタル無線指令センターが稼働する予定となっております。指令センターでは、119番通報の受付から災害対応までを一元的に管理することができるようになります。もし、災害等が発生した場合は、今まで以上に迅速に災害現場に駆けつけ、適切な対応が可能となり、大災害などへの対応も強化できます。

稲敷地方広域市町村圏事務組合も、平成27年度より消防・救急無線のデジタル化と指令センターの広域化を予定しています。南渡島消防事務組合消防本部と同様に、災害時の初動・情報・対処能力の向上に加え、現在の通信業務の経費の削減と業務効率化を図ることが可能となります。

今回の視察研修をとおして、日ごろから職員の防

火・防災に対する意識の高さを感じました。消防は火災から生命、身体及び大切な財産を保護するだけでなく、地震・風水害などの災害の阻止と被害の軽減を目的とする諸活動のほか、救急業務を行い、地域の安全確保のために不可欠な存在となっております。私たちも日ごろから防火・防災意識を高め、災害等が発生した際は、地域の安心・安全確保に努めなければならないと感じました。



地域防災活動推進に向けての意見交換